

大腸がん検診について

大腸がんは、近年急激に死亡率が増加しています。その大きな原因は食生活の欧米化です。肉類や脂肪を多く取ることにより、体内での発がん性物質が発生しやすくなります。また、食物繊維の摂取が減っていることも、便秘につながり、発がん性物質が排出されにくい状態になっているといえます

大腸がんは初期に自覚症状が少なく、なかなか見つけにくいがんのため、1年に1回の検診をおすすめいたします。

対象者

40歳以上の市民の方(今年度中に40歳になられる方を含む)で、お勤め先等で大腸がん検診を受ける機会がない方

※大腸疾患の治療中・経過観察中の方は対象となりません。(疾病の早期発見のための検診です。)

※会社等の検診・被扶養者検診で同等の検診を受ける機会がある方は対象外です。会社等の検診を受診してください。

※大腸疾患の既往歴がある方、以前精密検査と診断された方は個別検診をお勧めしております。集団検診では、前回の検診結果を考慮した判定ではありません。そのため、既往歴がある方、以前精密検査となった方は同症状で精密検査となる可能性があります。

実施期間

集団検診：日時指定で行われます。詳しくは「令和7年度がん検診のご案内」をご覧ください。

個別検診：6月～10月

受診回数

集団検診または個別検診のどちらかを
1年度（4月～翌年3月）に1回。

検診内容

問診及び便潜血検査を行います。

※検診当日までに2日分の便を採取し、指定容器へ入れて検診当日に提出していただきます。

検診料(自己負担金)

集団検診：300円

個別検診：500円

※検診の結果、精密検査が必要となった場合、検査費・治療費等は別途費用が発生しますので、ご了承ください。

※がん検診の検診料(自己負担金)が免除される制度があります。
詳しくは「自己負担金免除制度について」をご覧ください。